

学会記事

【第8回総会】（2015年6月20日，筑波大学筑波キャンパス，出席者62名）

山下清海常任委員長の開会の辞，櫻井明久会長の挨拶のあと，橋本雄一会員を議長，磯野 巧庶務委員を書記として選出し総会が始められた。

I. 会務報告について

会員数（2015年5月21日現在，330名），第7回大会の開催，第18回例会の開催，機関誌「地理空間」第7巻1号および第7巻2号の刊行，ニューズレター（第20～21号）の発行，ホームページおよびメーリングリスト（jags-ml）の運営，および2015年度学会賞について報告があった。

[地理空間学会学会賞]

【特別賞】

白坂 蕃

受賞対象：

白坂 蕃『スキーと山地集落』明玄書房，1986年4月。

白坂 蕃『海のくらし-島に生きる人々』小峰書店，1997年4月。

尹紹亭著，白坂 蕃訳『雲南の焼畑-人類生態学的研究』農林統計協会，2000年12月。

白坂 蕃．野沢温泉村におけるスキー場の立地と発展-日本におけるスキー場の地理学的研究-1-．地理学評論 49: 341-360．1976年6月。

白坂 蕃．中央高地柵池高原における新しいスキー集落の形成．地理学評論 55: 566-586．1982年8月。

Shirasaka, S. Skiing grounds and ski settlements in Japan. *Geographical Review of Japan, Series B* 57: 68-86. 1984年4月。

Shirasaka, S. The agricultural development of hill stations in tropical Asia: A case study in the Cameron Highlands, Malaysia. *Geographical Review of Japan, Series B* 61: 191-211. 1988年12月。

Shirasaka, S. Changing slash-and-burn cultivation in Xishuangbanna, Southwestern China. *Geographical Review of Japan, Series B* 68: 107-118. 1995年12月。

白坂 蕃．日本の古代スキーとその自然環境．日本スキー学会誌 10: 135-143．2000年7月。

Shirasaka, S. Changing traditional swidden in the Southern Mountains of Yunnan Province, China. *Journal of Geography (Chigaku Zasshi)* 113: 273-282. 2004年4月。

Shirasaka, S. The transhumance of sheep in the Southern Carpathians Mts., Romania. *Geographical Review of Japan* 80: 290-311. 2007年4月。

【学術賞】

橋本雄一

受賞対象：橋本雄一『東南アジアの経済発展と世界金融危機』古今書院, 198p., 2014年3月.

横山 智

受賞対象：

横山 智『納豆の起源』NHK 出版, 317p., 2014年11月.

Yokoyama, S., Okamoto, K., Takenaka, C. and Hirota, I. eds. *Integrated Studies of Social and Natural Environmental Transition in Laos*. Springer, 160p., 2014年8月.

横山 智編『資源と生業の地理学(ネイチャー・アンド・ソサエティ研究4巻)』海青社, 350p., 2013年11月.

【奨励賞】

杉本興運

受賞対象：

Sugimoto, K. Visualizing the sightseeing potential of urban recreational spaces: A study of weighted scores on the density estimation of points of visual interest. *Geographical Review of Japan Series B* 86(2): 189-197. 2014年3月.

杉本興運・菊地俊夫. 日本における観光資源分布の地域的特徴. 地学雑誌 124: 1-24. 2014年2月.

杉本興運・岡野裕弥・菊地俊夫. レンタサイクル利用による観光回遊行動の実態: 長野県安曇野市におけるGPS・GIS支援による調査とデータ解析. 観光研究 24(2): pp15-27. 2013年3月.

Sugimoto, K. Quantitative measurement of visitors' reactions to the settings in urban parks: Spatial and temporal analysis of photographs. *Landscape and Urban Planning* 110: 59-63. 2013年.

杉本興運. 観光者の視覚的体験情報に基づく回遊空間の評価—デジタルカメラ, GPS, GISを使った分析手法—. GIS—理論と応用 20(1): 39-49. 2012年6月.

Ronald Canero ESTOQUE

受賞対象：

Estoque, R.C. and Murayama, Y. Measuring sustainability based upon various perspectives: A case study of a hill station in Southeast Asia. *AMBIO* 43: 943-956. (2014年3月18日オンライン刊行)

Estoque, R.C. and Murayama, Y. Social-ecological status index: A preliminary study of its structural composition and application. *Ecological Indicators* 43: 183-194. (2014年3月25日オンライン刊行)

Estoque, R.C. and Murayama, Y. A geospatial approach for detecting and characterizing non-stationarity of land change patterns and its potential effect on modeling accuracy. *GIScience & Remote Sensing* 51: 239–252. (2014年4月24日オンライン刊行)

Estoque, R.C. and Murayama, Y. Landscape pattern and ecosystem service value changes: Implications for environmental sustainability planning for the rapidly urbanizing summer capital of the Philippines. *Landscape and Urban Planning* 116: 60-72. (2013年5月17日オンライン刊行)

Estoque, R.C. and Murayama, Y. Examining the potential impact of land use/cover changes on the ecosystem services of Baguio city, the Philippines: A scenario-based analysis. *Applied Geography* 35: 316–326. (2012年9月13日オンライン刊行)

II. 2013年度決算報告・監査報告について

2014年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され、その収支について会計監査人（田林、矢ヶ崎）より適正であるとの承認を受けたことが報告された。2014年度決算案は異議なく承認された。

III. 2015年度事業計画について

2015年度事業計画について、「地理空間」第8巻1号および2号の刊行、第8回大会の開催（筑波大学筑波キャンパス予定）、例会の開催、ニューズレターの発行、ホームページとメーリングリストの管理・運営、会員名簿の発行、ホームページデザインの更新が提案された。2015年度事業計画は異議なく承認された。

IV. 2015年度予算案について

2014年度予算案について、収入と支出に関する説明がなされた。2015年度予算案は異議なく承認された。

V. 役員・専門委員会の構成について

役員および専門委員会（2014年7月1日～2016年6月30日）の構成員について報告された。役員および専門委員会構成員は異議なく承認された。

会 長：櫻井明久（駒澤大）

会計監査：田林 明（筑波大名誉）、矢ヶ崎典隆（日本大）

常任委員：山下清海（常任委員長、筑波大）、呉羽正昭（庶務委員長、筑波大）、山下亜紀郎（会計委員長、筑波大）、森本健弘（集会委員長、筑波大）、松井圭介（編集委員長、筑波大）

評 議 員：井田仁康（筑波大）、伊藤 悟（金沢大）、伊藤徹哉（立正大）、小口千明（筑波大）、小野寺 淳（茨城大）、加賀美雅弘（東京学芸大）、兼子 純（筑波大）、川瀬正樹（広島修道大）、菊地俊夫（首都大学東京）、呉羽正昭（筑波大）、小林岳人（松戸国際高）、小宮正実（帝国書院）、篠原秀一（秋田大）、須山 聡（駒澤大）、平 篤志（香川大）、高橋重雄（青山学院大）、堤 純（筑波大）、中西僚太郎（筑波大）、中村周作（宮崎大）、中村理恵（前橋高）、仁平尊明（北海道大）、根田克彦（奈良教育大）、橋本雄一（北海道大）、平岡昭利（下関市大）、松井圭介（筑波大）、丸山浩明

(立教大), 村山祐司(筑波大), 森本健弘(筑波大), 山下亜紀郎(筑波大), 山下清海(筑波大), 山下宗利(佐賀大), 若本啓子(宇都宮大)

<専門委員会>

庶務委員会：呉羽正昭(委員長), 磯野 巧, 児玉恵理, 中川紗智, 橋爪孝介

会計委員会：山下亜紀郎(委員長), 栗林 慶, 羽田 司, 福井一喜

集会委員会：森本健弘(委員長), 山下亜紀郎(副委員長), 池田真利子, 石坂 愛, 卯田卓矢, 遠藤貴美子, 矢ヶ崎太洋

編集委員会：松井圭介(委員長), 堤 純(副委員長), 井田仁康, 小口千明, 須山 聡, 田林 明, 中西僚太郎, 橋本暁子, 橋本雄一, 丸山浩明, 村山祐司, 矢ヶ崎典隆, 山下 潤, Thomas C. Waldichuk

(書記)：小野澤泰子, 橋本 操, 益田理広, 渡邊瑛季

学会賞選考委員会：井田仁康(委員長), 岩間信之, 中村周作, 仁平尊明, 村山祐司(事務局)

(※2015年7月1日～2016年6月30日, 1年間)

VI. その他

機関誌「地理空間」の別刷り代の負担について, 若手研究者の研究を奨励するために, 院生会員・学生会員の単著論文, 掲載年度もしくは掲載年度の前年度に提出された卒業論文・修士論文をもとにした単著論文に該当する論文に関しては, 50部まで論文別刷り代を無料にすることが兼子会計委員長より提案された。この案は異議なく承認された。

【大会報告】

第7回(2014年6月28日～6月29日, 於：立教大学新座キャンパス, 参加者84名)

・シンポジウム「消滅自治体論を批判する—地理学からの反論—」

オーガナイザー：須山 聡(駒澤大)

藤永 豪(佐賀大)：中山間地域における高齢者による農業の存続実態とその意義—脊振山麓の集落調査をとおして—

植村円香(秋田大)：離島における高齢者主体の「小さな経済」—東京都利島村のツバキ実生産を事例に—

林 琢也(岐阜大)：「取り残される農村」は消滅していくのか?—郡上市和良町での「経験」とそれをもとにした「反証」—

市川康夫(筑波大)：フランス農村における高齢者と過疎化問題

・研究発表

石川真弓（高崎経済大・院）：戦前日本におけるラジオの普及と地域社会の対応－群馬・埼玉を事例として－

小林岳人（県立松戸国際高）：地理的興味の対象としてのオリエンテーリング

坂本優紀（筑波大・院）・小林博樹（東京大）・中村和彦（東京大・特任研究員）・斎藤馨（東京大）：石川県金沢市における用水路の音環境と住民評価

川瀬正樹（広島修道大）：スウェーデン・イエーテボリにおける居住分化とインフラ整備

澁谷和樹（立教大・院）：旅行ブログを用いた観光行動の時空間分析－訪都外国人旅行者を対象に－

堀本雅章（法政大・国内研究員）：限界集落における観光地化と島民意識－食堂・民宿開業後の沖縄県宮古島市大神集落の事例－

丸山宗志（立教大・院）・大塚直樹（亜細亜大）：ホーチミンシティにおけるバックパッカーエリアの空間的特徴

白坂 蕃（東京学芸大名誉教授）・渡辺悌二（北海道大）：パミール高原北部のアライ谷における牧畜

・ポスター発表

磯野 巧（徳島大）：徳島県徳島市における観光ボランティアガイドの知識習得形態

竹下和希（筑波大・院）：長野県出身大卒者のライフコースとその規定要因

名倉一希（筑波大・院）：群馬県におけるスキー場経営体の変化－スキー観光衰退期に着目して－

松原伽那（筑波大・院）：屋形船の水辺観光空間－隅田川沿いを事例として－

橋爪孝介（筑波大・院）：里海創生事業の地域的役割と可能性－三重県志摩市における計画と実践から－

小林 愛（筑波大・院）：伝統的祭りの変容と地域とのかかわり－新潟県小千谷市片貝地区の「片貝まつり」を事例に－

富田厚志（筑波大・院）：川崎市多摩川崖線軸における緑地保全活動

麻生紘平（筑波大・院）：大田区の基盤的技術産業における外部経済－2014年に廃業した一事業所の取引関係に注目して－

遊佐 暁（筑波大・院）：静岡県静岡市駿河区用宗地区における高度経済成長期以降の漁村及び漁民の生活の変遷

・巡検

「変わる柏のまちづくり－スマートシティと駅前再開発を巡る－」（参加32名）

オーガナイザー：木村祐介・栗林 慶・坂本優紀・羽田 司・包 慧穎・矢ヶ崎太洋

【地理空間学会会則】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL：<http://jags.ne.jp/>

【編集委員会からのお知らせ】

2015年4月～2015年9月:「論説」3編,「リサーチ・ペーパー」4編について閲読結果をもとに検討し,「論説」3編,「リサーチ・ペーパー」2編を受理した。また,消滅自治体論に関わる特集関連の4編を受理した。

地理空間学会常任委員会および編集委員会にて審議の結果,前号(第8巻1号)より,従来の「調査報告」と「研究ノート」の原稿種別を統合し,「リサーチ・ペーパー」(Research Paper)となりました。原稿種別は,以下のようになりました。

論説: 実証的または理論的研究の成果として,オリジナリティーを有するもの。

リサーチ・ペーパー: 特定の地域に関する調査成果をまとめたもの。または,一連の研究の中間報告や予察的な研究報告など。

展望: 既存の研究成果を分析・検討して,研究動向と将来展望をまとめたもの。

フォーラム: 研究・教育に関する情報や意見,授業実践報告,企業レポート,各地の話題,巡検案内,巡検記録,各種ソフトの紹介など。

地理資料: 地理学および関連諸分野における資料的価値のある重要な情報をまとめたもの。

書評: 新刊書等の批評と紹介をしたもの。

【次号以降の投稿について】

第9巻1号は,2016年6月20日の発行を予定しております。第9巻1号の原稿については随時受け付けております(1号への掲載は,3月末までに受理が出ている必要があります)。内容は最新の論争から時事性,トピック性の高いテーマ,丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために,会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして,会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には,編集委員会(geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp)までお知らせください。

【投稿規程 & 執筆要項】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL: <http://jags.ne.jp/>

【新入会員】(2015年5月22日から2015年10月22日)

梅田克樹(千葉大)

金子和浩(立教大・院)

林 秋博(日本スーパーマップ株式会社)

矢田幸正(日本スーパーマップ株式会社)

加藤武司(有限会社ヤック)

川添 航(筑波大・学)

林 靖子(獨協埼玉中学高等学校)

(会員数: 336人, 2015年10月22日時点)

地理空間学会編集委員会

委員：松井圭介（委員長），堤 純（副委員長），井田仁康，小口千明，須山 聡，田林 明，中西僚太郎，橋本暁子，橋本雄一，丸山浩明，村山祐司，矢ヶ崎典隆，山下 潤，Thomas C. Waldichuk（書記）小野澤泰子，橋本 操，益田理広，渡邊瑛季

地理空間 第8巻2号（ISSN 1882-9872）

発行日 2015年12月20日

編集発行 地理空間学会

会 長 櫻井 明久

事務局 〒305-8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学生命環境系

地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局

TEL：029-853-6873 FAX：029-853-6873

印刷 谷田部印刷株式会社

〒305-0681 つくば市谷田部1979-1

本誌の著作権は地理空間学会が所有しています。無断転載禁じます。

本学会へ入会を希望される方は、本会ホームページにあります入会申込書に必要事項をご記入の上、学会事務局まで電子メールまたは郵送でお送り下さい。折り返し、会費納入方法などについてご連絡いたします。